

地域の活性化と交流人口増加へ

創業支援・企業間連携を加速

新潟県
小千谷地区
特集

老若男女集う

市内中心部に複合施設

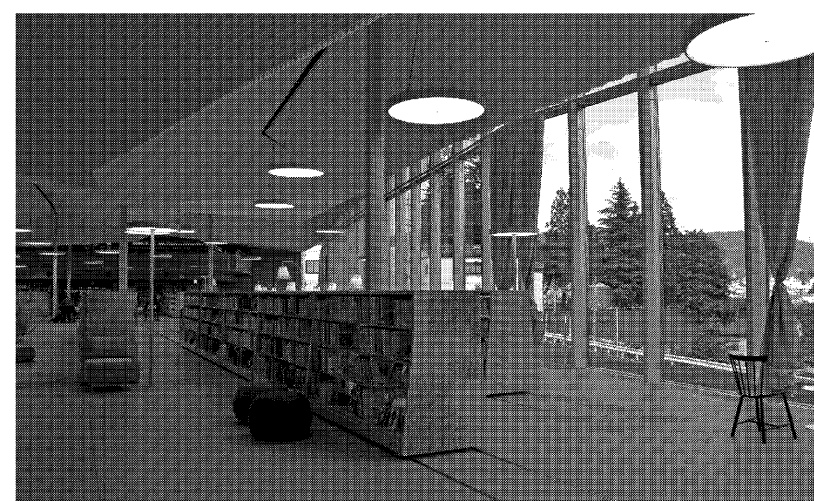
新潟県小千谷市は市内の人々の交流活性化に力を入れている。全国的に人口減少の影響が人手不足という形で表面化している中、小千谷市も同様の課題に直面している。市による創業支援や、市内の人が集いコミュニケーションを深める新施設「企業同士の連携によるビジネスと地元PRの取り組み」を迫った。



2024年オープンした複合施設「ホントカ。」

24年9月、小千谷市内中心部に老若男女が集うシンボリックな施設が誕生した。「小千谷市ひとまち文化共創拠点 ホントカ。」だ。12年に同市内2カ所の総合病院の経営統合が決まり、市内中心部に立地していた小千谷総合病院が移転することになった。空白地になることで予想される市内の活力低下を避けるため、賑わいを創出する新たな拠点を設立する再開発計画が始動した。

ホントカ。は図書館を中心とした複合施設。郷土資料館や子どもが遊べる広場としての機能も持ち、「アンカー」と呼ばれる用途に応じた9つの空間が用意されている。従来の静謐な図書館のイメージとは異なり、一部を除いて飲食も可能で、学校帰りの子どもたちが駆け回る遊び声が聞えてくる。ホントカ。担当者は「図書館は静かにしてあたりまえだったが、こは賑わい創出が使命。マルシェや屋内遊具など、地元とのつながりを作り出していく」と語る。6月19日時点で27万人超が来場。旧図書館とは機能が異なるため単純な比較はできないが、旧図書館の図書貸し出し人数は1日100人程度だったのに対し、ホントカ。来館者数は1日5000〜2000人。「開館して人で人が集まっているというところがあるが、体感で10倍くらい違う」といいます。



内部には9つの空間を用意

しゅうミンなど12種の機械が設置されている。講習を受けると個人・法人問わず誰でもモノづくり体験ができる。UVプリンターを用いてアクリルグッズを作る一般利用者や、販売目的に利用する企業もいる。

起業家育成支援 ビジネスコンテスト開催

近年小千谷市が力を入れている施策の一つが起業・創業支援だ。同市は事業所数の減少が続いており、2009年には2011あった事業所が21年に事業所数は17・3%減の1663に、従業員は同じく1万8548人から11・8%減の1万6363人に落ち込んでいる。人口減少が続く中、ある程度の事業所数減少は避けられないことではあるが、新たな事業を興すことは地域経済の活性化を促すだけでなく、若者にとって魅力的な雇用口の拡大にもつながる。24年度から新たに取組んでいるのが起業家育成支援事業「BALLOON(バルーン)」。雪原の上で熱気球を上げる小千谷市の冬の風物詩「おちや風船」にちなみ、沢山の個性あるビジネスが生まれ、大きく高く飛びたつことを目指している。

同事業は起業にかかる経費を最大100万円補助する「チャレンジ支援事業補助金」の採択者を決めるビジネスコンテストを中心としており、創業前から創業後に至るまで続く定型的なビジネス支援体制が充実している点が特徴。同市は同事業を通じて、年8社の起業を目指す。事業内では、第一線で活躍する起業家から知見や知識を学ぶイベント「スタートアップアクセラレーション小千谷」や、ビジネスコンテストに応募する企業を支援する企画を実際に練り上げる「創業支援ワークショップ」など、支援事業採択後の定期的なメンタリングなどが行われる。ビジネスコンテストに応募する前段階として、気晴しに参加できるセミナーや、女性を対象にした「起業女子お茶会」等を不定期に開催し、関口を広げている。

地元企業が連携 JIMTOFでスタンプラリー



好評を博した小千谷市内企業のスタンプラリー

24年11月に東京都ビッグサイト(東京都江東区)で開かれた日本国際工作機械展本展(JIMTOF)では、小千谷市内に本社を置く7社が連携し、スタンプラリーを実施した。出展したエキワ精工、エヌ・エス・エス、オデッセイ、第一測範製作所、タカハシキカイ、日本ベアリング、理研精機の7社に各社オリジナルのスタンプと台紙を設置し、地元を知りながら周遊してもらおうという試み。景品には新潟県魚沼市産のコシヒカリや小千谷市の地酒など、会場産品を用意し各社の好評を博した。賞が2日目でなくなるなど好評で、頂いたはがきに「またお願いいたします」というコメントが記載されており、手応えを感じた」と話す。理研精機の井佐大輔係長は「普段来られない顧客にも来て頂き効果絶大だった先日行った客先ではスタンプラリーに当たったという人に偶然出会ったと驚く。こうした企業間連携に、幹事を務めたエキワ精工の酒巻弘和社長は「同市の人口は3万3000人弱だが、人口に対するJIMTOF参加社比率はおそらく最も高い」と話す。

高精度

「スピンドル」の製造で「ものづくり」をサポート

NS・S CO., LTD
エヌ・エス・エス株式会社

〒947-0035 新潟県小千谷市後町2379番地1 TEL.0258-82-2255(代) FAX.0258-82-5382

切削工具の購入本数が減りました。

高精度ツリーングシステム
スーパーG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

本社・工場 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1
TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
URL http://www.yukiwa.co.jp/

**おかげさまで
創業70周年を迎えます**

70th ANNIVERSARY

Y軸付2スピンドル
精密ターニングセンター
WT50

詳細はこちら

TMW MICROSTAR 株式会社 タカハシキカイ

本社・工場 TEL (0258)82-4315(代)
E-mail:sales@tmwj.co.jp https://tmw-microrstar.co.jp

検査・測定ラインの自動化

ロボット 内径/ねじ 自動検査システム

・連続で検査、測定、判定
・測定ヘッド自動交換
・測定結果自動分析

ねじプラグゲージでタップ穴の通り検査

空気マイクロメータで内径を測定

ねじリングゲージを使った自動おねじ検査新登場!

株式会社 第一測範製作所
https://issoku.jp

ISSOKU 情報発信

本社工場: 〒947-0044 新潟県小千谷市坪野826-2 TEL 0258-84-3911
営業所: 東京 03-5812-6722 / 名古屋 052-331-8521
大阪 06-6533-3296 / 北 076-423-5335

I.M.C 新潟産業人クラブ つながる ひろがる

2025年度新規会員募集中!

新潟産業人クラブでは、8月から始まる2025年度の新規会員を大募集しています。毎月の月例会はもちろん、小グループ勉強会、工場見学会、ゴルフコンペなど、多彩な活動を展開しています。この機会にぜひご入会下さい!

事務局 ✉ sentan@sentan.gr.jp TEL 025 (233) 3883 日刊工業新聞社新潟支局内

HIMU GROUP

ヒムエレクトロ株式会社

〒947-0044 新潟県小千谷市大字坪野853番地 TEL.0258-81-2381